



区のおくらせ

No. 157



7月26日朝

神田明神境内で行なわれた
区のラジオ体操会が

NHKの電波にのり

全国に中継放送されました

この日 全国中継とあって

早朝から区内の各町会の有志が

ぞくぞくとつめかけ

体操のはじまるころには

およそ千三百人が境内を埋めつくしました
六時半の開始を合図に

まずラジオ体操の歌を元気に齊唱

つづいてNHKの柳川先生の

「一、二、三……」の力強い号令と

ピアノのさわやかなリズムに合わせて
就学前の幼児から白髪のおとしよりも

のびのびと手足をのばす光景は

健康増進にはげむ区民の
はつらつとした姿でした

ピアノのリズムにあわせ
千三百人がラジオ体操

町会や商店会などが管理していることになり、このため、昨年10月から区道上の防犯街路灯の寄付を、各団体から受けていますが、5月16日現在で正式に区に移ったものは、一、一六五基で、内訳は下表のとおりです。

区役所土木課では、寄付を受けた防犯街路灯のうち、改修を必要とするものには改修を施し、現在までに、一三九灯の木柱白熱灯を二〇〇W水銀灯に改修しました。

防范街路灯

寄付を受けたもの 1,165基

改修も順調にすすむ

習った英語もあざやかに

英会話講習生の卒業公演

て横井先生を呼び、更にハイク
ラスをねらおうと意気込んでい
ます。

上高地での区民キャンプ

充分吸ったおいしい空氣



(写真は、劇で横井先生にプレゼントする講習会終了生)

明年のオリンピックをひかえ、英語に強くなつてもらおうと、区内中小企業店員さんたちを対象に、5月7日から商業英会話を行なつていきましたが、7月26日午後6時から区役所五階会議室で、その終了式が行なわれました。

この日の終了生は、男三三名、女四一名計七三名で、年令別には二〇代が四五名で、半分以上を占め

最年長は五六才の楽器屋のご主人、最年少には、十五才の店員さん

がいます。

式のあと、三ヶ月間の成果を見て

もらおうと、八百や、コーヒーショップ、美容院などでの客の応待

のしかた、買い物のしかたなどを劇にした

て、習いおぼえた英語もあざやかに、熱演

ぶりを發揮しました。

また劇中、お世話になつた横井先生に、心づくしのプレゼントとレイ（首飾り）を贈ると

いうははえましい場面もありました。

なお、もっと勉強を続けたいという、終了生の一部有志が集まり、8月中毎週一回、月謝を出し合つ

國民年金に

加入しましょう

本区で国民年金に加入しているひとは、約二万人で、八〇%に達しています。

加入率が九〇%近くにもなっている他区とくらべ、まだだといった現状です。

厚生省の本区の推定被保険者数（加入しなければならないひと）は二万四千人で、現在までの加入

済のひとは、一万九千人ですから、まだ未加入のひとは五千人いる

と推定されますので、加入手続きをしてない方々（各種社会保険に加入していない方で二十才以上五十才までのひと）は、至急加入手続きをしてください。

保険料の納付については、出張検認の制度ができ、職員が直接被保険者の自宅を訪問し、保険料を徴収します。

この制度についての疑問な点があ

りましたら、区年金厚生課適用係

千代田・中央区境について協議

7月29日午前10時第一議員控室

8月1日午前10時第一議員控室

りましたら、区年金厚生課適用係

千代田・中央区境について協議

7月22日 夏季施設開校式に出



総務委員会

7月29日午前10時第一議員控室

席した。

人事異動

7月22日 夏季施設開校式に出

席した。

木村敏雄 都営

建築課營繕係長 木村敏雄 都営

縫本部 前任者の木村英宜は結核療養中

文教委員会

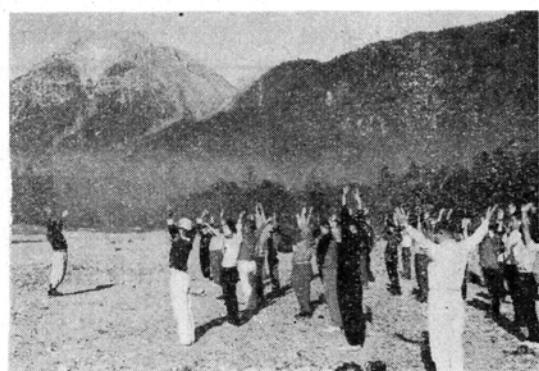
7月29日午前10時第一議員控室

席した。

木村敏雄 都営

建築課營繕係長 木村敏雄 都営

縫本部 前任者の木村英宜は結核療養中



水泳講習会
8月13・14日の午後5時30分
7時、西神田小プールで
参加資格　区内に住んでいるひと
とか勤めているひと（学生は除く）
会費　一〇〇円
申込み　8月9日までに区教委
体育係まで。定員五〇名になります。
り次第締切ります。
海洋少年団水泳大会
8月17日午後1時から西神田小
で
自由型、平泳、班別リレー、救
急法模範競技など行なう。

オリリンピック映画と講演の夕べ
8月19日午後7時から今川中で
映画　「オリンピック東京への道」
講演　「立山の山男」他一本
て　N H K スポーツ部
笛野利彦氏



ボクもやります 毎月10日は 首都美化デー

みんなで東京をきれいに

区民税 第2期分

—8月31日までに—

お支払いは区役所・出張所・郵便局・銀行・信用金庫へ

納期のまだきてない分をあわせて
納めた方に報奨金を差上げます

スイカ割りで楽しむ 夏の野外こども会

7月23日から、竹平町をかわきりに、夏の野外こども会が始まりました。ゲーム・紙しばいのあと、こどもたちのお目当のスイカ割り、5~6歳はなれたところから、1歳ほどの棒をもち、目かくしをしてスイカに向って進み、エイッ、ヤッと少年剣士よろしく、上段にかまえた棒をぶりおろしますが、スイカはあらぬ方向。

今年は、スイカの不作とあって、ここで使われたスイカは、ビニールの風船でしたが、最後に本もののスイカの一切れを、区役所のおねえさんたちからもらって、うれしそうでした。

なお、夏のこども会は、8月21日まで行ないます。

(写真は7月23日竹平町アパートで)



問
（） 盛り場を近くに持つ住民の方々の、共通した悩みでしょ
う。立小便という悪習慣をなくすには、一人一人の自覚にまたねばなりませんが、保健所、警察など関係方面に次のとおり要望しました。
（） 店主に対し、便所の設備を完備すること。客に注意を喚起すること
（） この種の軽犯罪者の取締りを強化してほしいこと

答
（） オリンピックを前に町をきれいに美しくと呼ばれているのはどうしたことでしょう。私の家の近くは、飲屋、バーが多く、酔ったひとたちが、路地でよく立小便をします。いくら注意をしても、かわる路地に来て用をすませるといきます。女性は、必ずおせり手洗で用を済ませているのですから、男性もぜひ実行してもらいたいものです。夏場の悪臭はほんとにがまんできません。一日も早くきれいな町になるよう取り計らってください。（三崎町一主婦）

区民のひば